

## 防災情報の入手先

みなべ町の防災情報や土砂災害等の情報は、インターネットなどからも確認することができます。自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難してください。

<b>みなべ町ホームページ</b> ●みなべ町の防災に関する情報を提供。 <a href="https://www.town.minabe.lg.jp/">https://www.town.minabe.lg.jp/</a>		<b>防災わかやま</b> ●和歌山県内の災害・防災・避難情報などを提供。 <a href="http://bousai-wakayama.jp/">http://bousai-wakayama.jp/</a>	
<b>みなべ町防災行政情報配信サービス</b> ●みなべ町から防災情報を提供。 LINE メール		<b>防災わかやまメール配信サービス（無料）</b> ●防災情報をメールでお知らせするサービスです。 登録方法: <a href="mailto:regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp">regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp</a> へ空メールを送信。	
<b>気象庁</b> ●全国の気象に関する情報、その他の災害情報などを提供。 <a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>		<b>わかやま土砂災害マップ</b> ●和歌山県内の土砂災害危険箇所などの情報を公開。 <a href="https://sabomap.pref.wakayama.jp/">https://sabomap.pref.wakayama.jp/</a>	
<b>防災情報提供センター</b> ●国土交通省の防災情報を提供。 <a href="https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/">https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/</a>		<b>川の防災情報</b> ●全国の国管理河川の水位などの情報を提供。 <a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a>	

### いざというときの連絡先

機関名	電話番号	機関名	電話番号
みなべ町役場	0739-72-2015	田辺警察署	0739-23-0110
みなべ町生涯学習センター	0739-74-3334	田辺警察署みなべ交番	0739-72-2029
ふれ愛センター(保健福祉センター)	0739-74-3337	田辺警察署西本庄駐在所	0739-74-2110
日高広域消防南部出張所	0739-74-3119	田辺警察署清川駐在所	0739-76-2025

### テレビによる情報の入手例

- NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。
- 見たい情報にカーソルをあわせ、「決定」ボタンを押してください。



## 災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生を行うことができます。※携帯電話各社でも同様のサービスを提供しています。

災害用伝言ダイヤル 171	伝言の録音方法	伝言の再生方法
このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。	① 171 をダイヤル ② 1 を押す ③ 被災地内の方も、被災地以外の方も 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください ④ 伝言を録音する	① 171 をダイヤル ② 2 を押す ③ ④ 伝言を再生する
体験利用日 ▶毎月1日・15日 ▶正月三が日 ▶防災週間 ▶防災とボランティア週間		



# 洪水 ハザードマップ

## わが家の防災メモ

家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。避難先までにかかった時間などをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

### ●避難所・避難場所

#### 第1候補

歩いて避難した場合にかかった時間

分

#### 第2候補

歩いて避難した場合にかかった時間

分

#### 第3候補

歩いて避難した場合にかかった時間

分

### ●家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

## 警戒レベルと避難情報

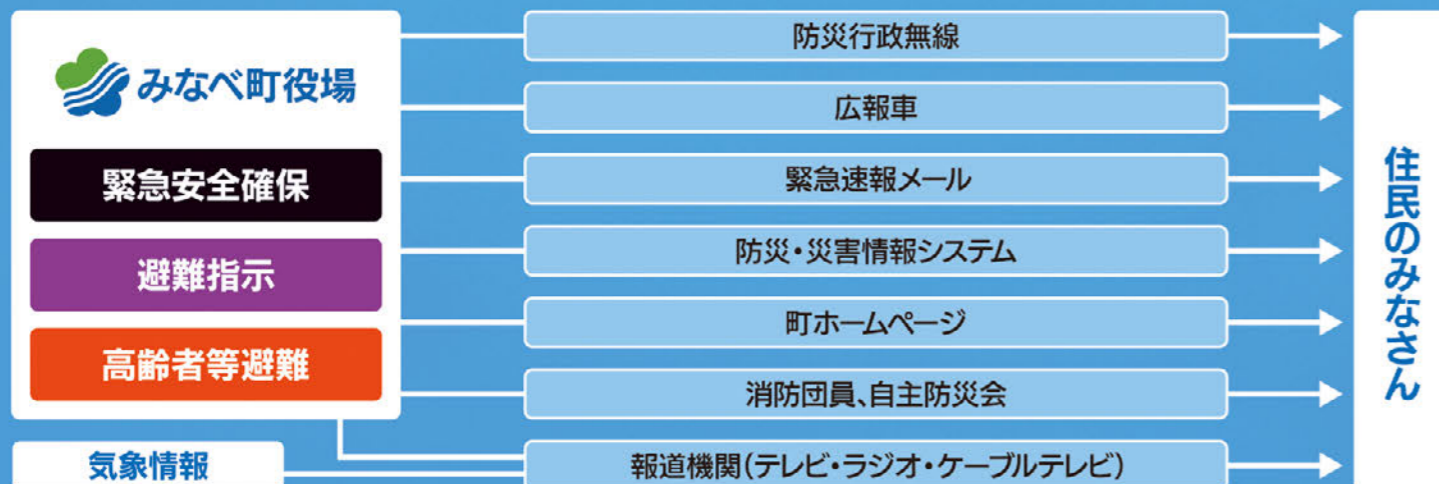
令和3年5月から、とるべき行動を明確にする形で避難情報の種類が変更されました。警戒レベル4の避難指示が発令されたら、すぐに危険な場所から避難してください。

警戒レベル	避難情報	状況	とるべき行動
5	緊急安全確保※	災害発生 又は切迫	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> ●命を守るため、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保してください。
<b>警戒レベル4までに必ず避難!</b>			
4	避難指示	災害の おそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ●危険な場所から全員避難してください。 ●屋内で安全確保できると自ら判断できる場合は垂直避難も可能です。
3	高齢者等避難	災害の おそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ●高齢者等の避難に時間を要する人やその支援者は避難してください。 ●高齢者等以外の人も、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
2	氾濫・大雨・ 土砂災害・高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	<b>自らの避難行動を確認</b> ●ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。 ●災害想定区域、避難場所や経路、避難のタイミングを確認してください。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況悪化 のおそれ	<b>災害への心構えを高める</b> ●最新の防災気象情報などを確認しましょう。

※災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5の緊急安全確保は必ず発令されるものではありません。

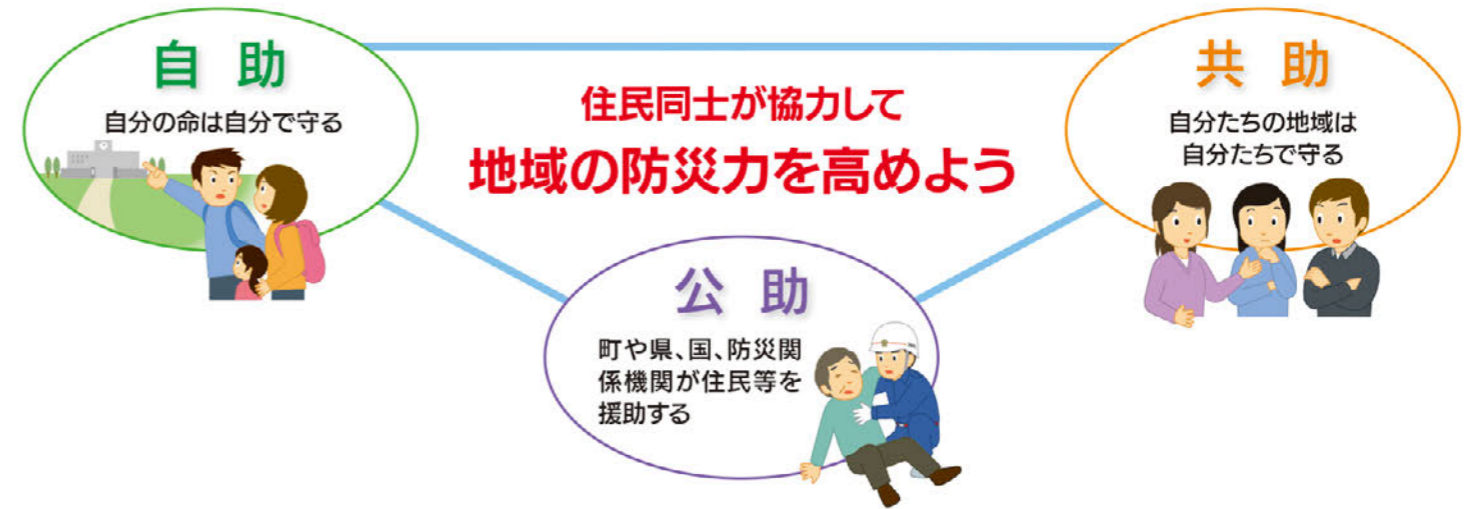
## 情報の伝達経路

町からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



## 地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、みなべ町をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



## 家庭で確認

災害に対しては日頃からの備えが重要です。この冊子やハザードマップを活用し、各家庭で次のようなことを確認しておきましょう。



### 1 自宅等の災害危険性をチェックしましょう

- 自宅周辺やよく行く場所の洪水や土砂災害、高潮、津波等の災害危険性を確認し、様々な事態をイメージしましょう。



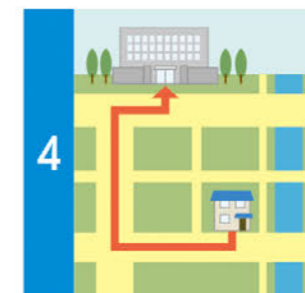
### 2 防災情報の入手先を確認しておきましょう

- 災害時に慌てないよう、日頃から防災情報の入手先を確認しておきましょう。



### 3 避難場所を決めておきましょう

- 土砂災害や浸水の危険がある区域を確認し、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 緊急に避難ができる身近な場所も探しておきましょう。



### 4 避難場所までの避難経路を考えましょう

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水等があった場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



### 5 家庭の状況にあわせた事前の備えを行いましょう

- 家族構成にあわせた非常持ち出し品、備蓄品を準備しておきましょう。
- 災害に備えて自宅の周りや屋内の家具配置を整えましょう。



### 6 日頃から家族や地域で話し合いましょう

- 災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- 避難時に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

## 状況に応じて早めの避難を



### 雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



### 避難指示などには速やかに従いましょう

町から避難指示などの避難情報が発令されたら、速やかに従いましょう。



### テレビ、ラジオ、スマホ、アプリ、SNSから情報収集

気象予報などさまざまな情報に気を配り、近所の方たちとも連絡をとりあひましょう。避難の準備も忘れずに行ってください。



### 声のかけ合いと助け合い

子どもや高齢者の避難には誰かの手助けが必要です。常に声をかけ合い、助け合う地域の輪、人の和で、みんなの安全を守りましょう。

## 安全な避難のために



自宅から避難先までの危険な箇所を把握し、安全に避難するためにどうすれば良いか、事前に確認しておきましょう。



町から避難情報が発令されたときや、ご自身で危険を感じたときは早めに避難行動を開始しましょう。夜間や豪雨のときの避難は危険です。



水害や土砂災害、地震による災害から逃れるために、あらかじめ避難先を確認しておいてください。



安全に避難するために、避難する場所をあらかじめ決めておき、避難するタイミングなどを家族で話し合ひましょう。

## 要配慮者(災害時要配慮者)について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

### 高齢者・病人

- 歩行の補助をするなど協力して安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



### 目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



### 肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、協力して避難する。



### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



## 避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



### 状況により、すばやく避難しましょう

避難の準備を心がけ、町からの指示があれば、素早く避難しましょう。



### 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう

特に高齢者や子どもは、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。



### 車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は注意しましょう。



### 非常持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



### 外出中の家族には連絡メモを残そう

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



### 集団で避難しましょう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



### できるだけ安全なルートで避難しましょう

川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



### 避難所等では係の人の指示に従いましょう

指定避難所に着いたら、住所、氏名などを報告しましょう。

## 避難所3つのマナー

### ゆずりあい



避難所はみんなで使うところです。限られたスペースしかありません。トイレの順番など、できるだけゆずり合ひましょう。

### おもいやり



避難所では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやりの気持ちで、過ごしましょう。

### たすけあい



ケガをしている人や体の不自由な人、また、病気の人なども避難所には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合ひましょう。

## 避難時の感染症対策・心得

### 避難所に入るとき

- 避難所担当者による発熱等の確認完了後、職員の指示で順番に避難所へ入ってください。
- 避難所内では、マスクを着用するなど、感染症対策を行ってください。

### 密を避ける

- 避難所は限られたスペースですので、どうしても「密」が起こりやすいです。親戚や友人宅に避難することも検討してください。
- 車中泊を行う場合は、エコノミークラス症候群や熱中症などに注意してください。



- |      |          |                   |
|------|----------|-------------------|
| 密閉空間 | 換気が悪い    | ▶30分に1度は換気を行う。    |
| 密集場所 | 多数が集まる   | ▶避難者同士の距離を保つ。     |
| 密接場面 | 間近で会話や発声 | ▶近距離での会話や発声は最低限で。 |

### 衛生・健康管理

- ふたのあるトイレは、ふたをしてから流してください。
- 定期的に検温を行ってください。
- 体調不良の場合は、避難所運営者に申し出てください。
- 持ち出し品としてマスク・消毒液を準備しておきましょう。

### 手洗い、咳エチケットの励行

- 咳のある方は、他の人にうつさないために、避難所内ではマスクを着用してください。マスクのない場合は、避難所運営者に申し出てください。また、咳エチケットも併せてお願いします。
- こまめに手洗いを行い、食事前やトイレ後は必ず手洗い、手指消毒を行ってください。



## 避難行動 立退き避難 屋内安全確保 緊急安全確保

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「立退き避難」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階に留まる「屋内安全確保」により身の安全を確保することも有効です。立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

### 計画的な避難行動

#### 立退き避難



避難行動の基本です。

#### 屋内安全確保



長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。

### 緊急的な避難行動

#### 緊急安全確保



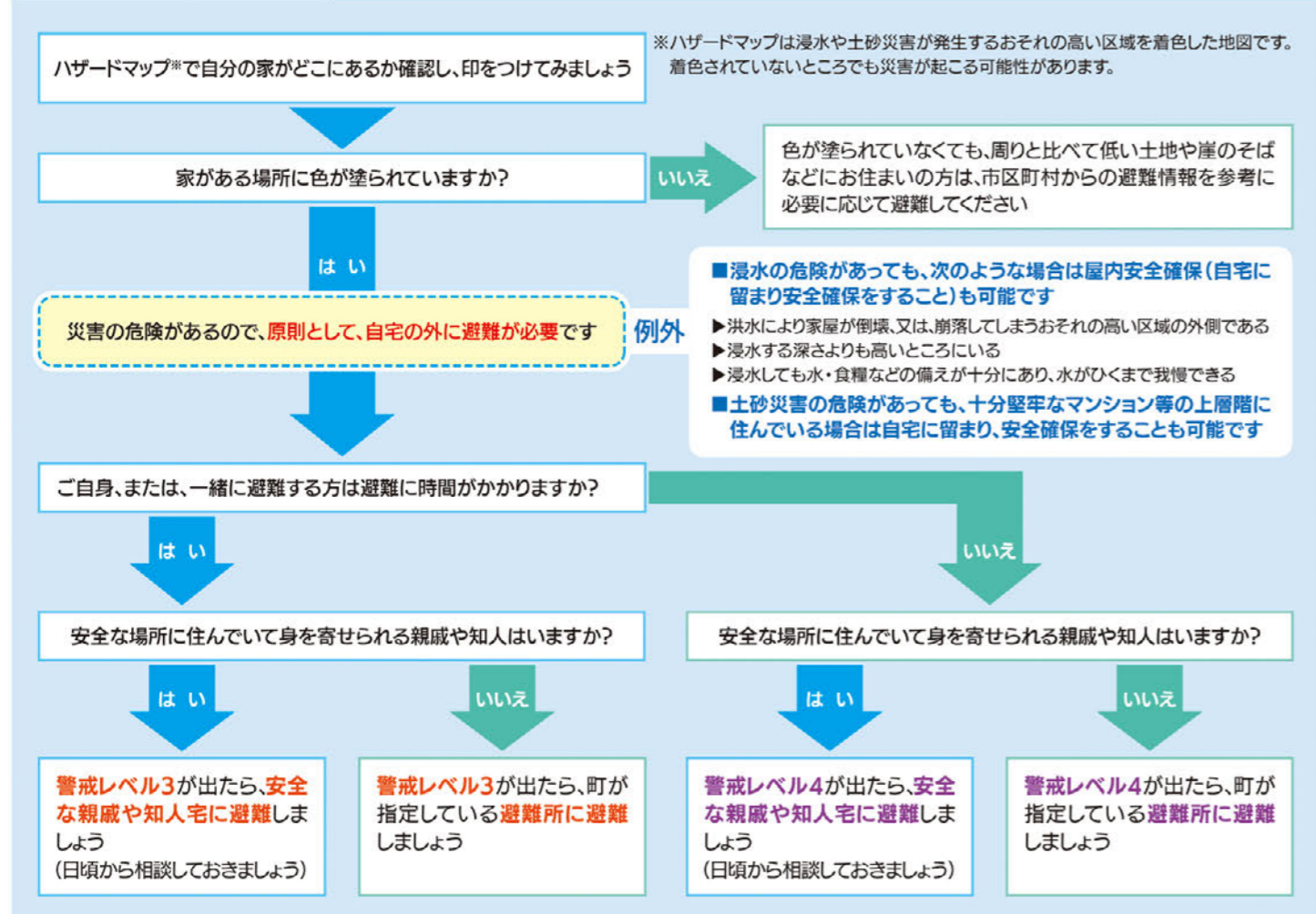
逃げ遅れた場合の行動です。身の安全を確保できるとは限りません。

## 避難行動判定フローを確認しましょう

「避難行動判定フロー」をこのハザードマップとあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

平時に確認

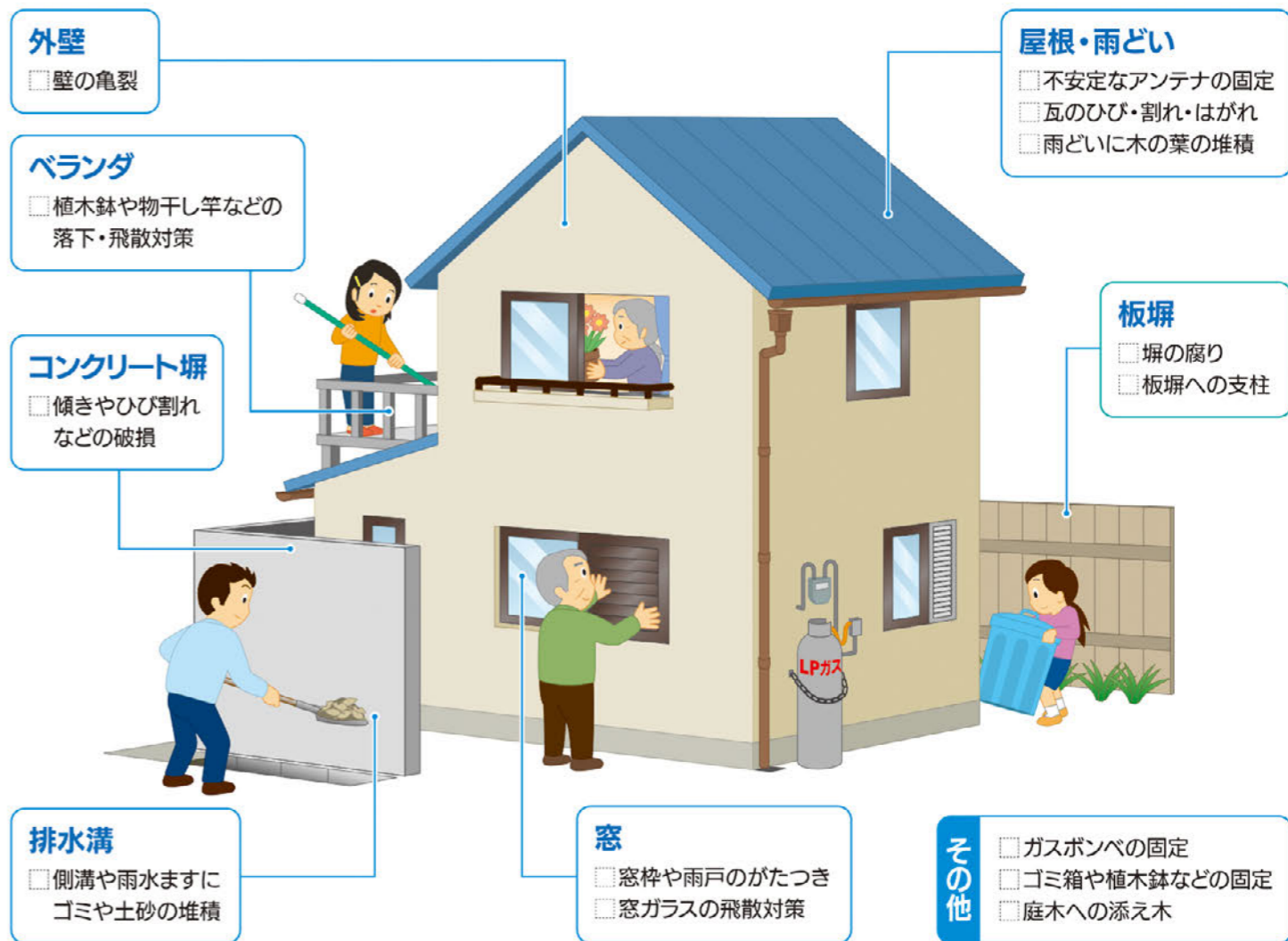
### 避難行動判定フロー あなたがとるべき避難行動は？



台風や大雨が発生するおそれがあるときには、巻末のマイ・タイムラインを活用し、どのような備えが必要か、事前に確認するようにしてください。

## 家の安全チェック

風水害による建物の被害を抑えるため、下のイラストを参考に、点検・修理・補強を行っておきましょう。



## 家庭でできる浸水対策

浸水が浅い場合には、プランターや長めの板(テーブルでも可)などを、ビニールシートに包んで設置する等の方法があります。



## 台風時の停電への備え

台風時には被災状況によって停電が長期化することがあります。停電や停電に伴う断水に備えて、懐中電灯、防寒具、飲料水などを準備しておきましょう。



# 風が強いとき、大雨のとき、どうすればいいのか

毎年のように台風や集中豪雨によって浸水や土砂災害などの被害が発生しています。しかし、地震と違い、風水害はある程度事前に発生を予測することができます。危険が迫ったら早めに対応しましょう。雨風が強まってきたら、まずテレビやラジオ、インターネット等で発表される気象庁からの注意報・警報・特別警報や、町からの避難に関する情報に注意しましょう。不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。

## 風が強いとき

**室内では…**

- 風圧や飛来物で、窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。
- 外側から板でふさいだり、内側から養生テープを×印に貼り、カーテンを引いておきましょう。

**路上では…**

- 看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの頑丈な建物の中に避難しましょう。

**海辺では…**

- 海中への転落や高波に巻き込まれる危険があります。沿岸に近づかないようにしましょう。
- 強風、豪雨時はサイレンなどの警報が聞こえづらくなりますので十分に注意しましょう。

## 大雨のとき

**室内では…**

- 豪雨の際は、床下・床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。
- 地下には避難しないようにしましょう。

**車の運転中は…**

- 豪雨で視界が悪くなると非常に危険です。あせらずに安全な場所に移動しましょう。
- 浸水でエンストしたときは、無理に再始動させるとエンジンを傷めてしまいます。

**河原では…**

- 急な増水や土砂災害の危険があるので、河川敷から堤防の外に移動しましょう。
- 今いる場所で雨が降ってなくても、サイレンなどの警報が聞こえたらすぐに避難してください。

## 雨の強さ、降り方と災害の危険性等

	やや強い雨 10~20mm未満	強い雨 20~30mm未満	激しい雨 30~50mm未満	非常に激しい雨 50~80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	● ザーザーと降る。	● どしゃ降り。	● バケツをひっくり返したように降る。	● 滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	● 息苦しくなるような圧迫感がある。 ● 恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	● 地面からはね返りで足もとがぬれる。	● 傘をさしてもぬれる。 ● 車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	● 道路が川のようになる。	● 傘はまったく役に立たなくなる。 ● 水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	● 雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。
災害の危険性	● この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	● 側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ● 小規模のがけ崩れのおそれがある。	● 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難が必要。	● 土石流が起こりやすい。 ● 多くの災害が発生する。	

# 暴風雨をもたらす台風のしくみ

**熱帯低気圧発生**

海上で発生した上昇気流によって積乱雲が形成され、多数がまとまって渦を作ります。渦中心の気圧が下がって大きく発達したものが「熱帯低気圧」です。

**台風発生**

暖かい海面から供給される水蒸気をエネルギー源として熱帯低気圧は発達していきます。最大風速17m/秒を超えたものが「台風」です。

**日本に接近・上陸**

台風は発達しながら北上します。風速や勢力が増した台風が、日本に接近・上陸し、暴風や大雨をもたらします。

※実線は主な経路、破線はそれに準ずる経路

## 台風のおおよその勢力を示す目安として、気象庁は風速をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。中心気圧が低く、風速が強い台風ほど、災害を引き起こす可能性が高くなります。

強さの階級分け		大きさの階級分け	
最大風速	階級	風速15m/秒以上の半径	階級
54m/秒以上	猛烈な	800km以上	超大型 (非常に大きい)
44m/秒以上~54m/秒未満	非常に強い		
33m/秒以上~44m/秒未満	強い	500km以上~800km未満	大型 (大きい)
33m/秒未満	表現なし		

## 線状降水帯のしくみ

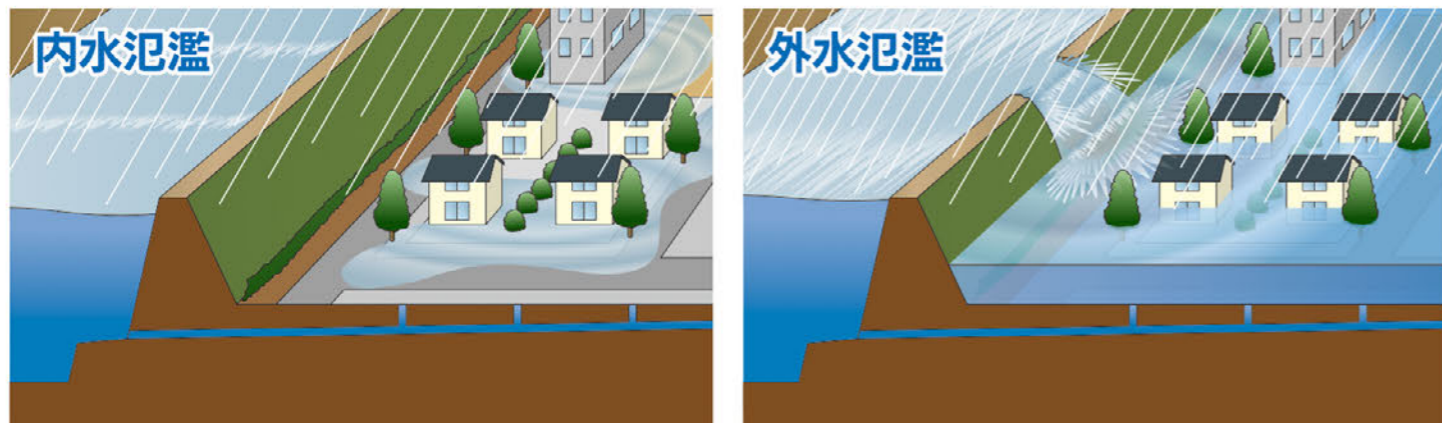
線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる強い降水域のことで、これまでも大きな被害をもたらしてきました。線状降水帯は、水蒸気の量、大気不安定性、各高度の風など複数の要素が関係しており、詳細については研究段階ですが、危険な現象であるため、気象庁では、令和3年から「線状降水帯」という用語で予測を公表しています。

**線状降水帯の代表的な発生メカニズム**

- ① 低層を中心に大量の暖かく湿った空気の流入が持続
- ② 局地的な前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生
- ③ 大気の状態が不安定で湿潤な中で積乱雲が発達
- ④ 空の風の影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶ

## 内水氾濫と外水氾濫

水害には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こる氾濫(内水氾濫)と、川の堤防が壊れたり、水があふれたりして発生する氾濫(外水氾濫)があります。まずは、水害の発生するしくみを理解して、避難場所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



その場で雨が降ってなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

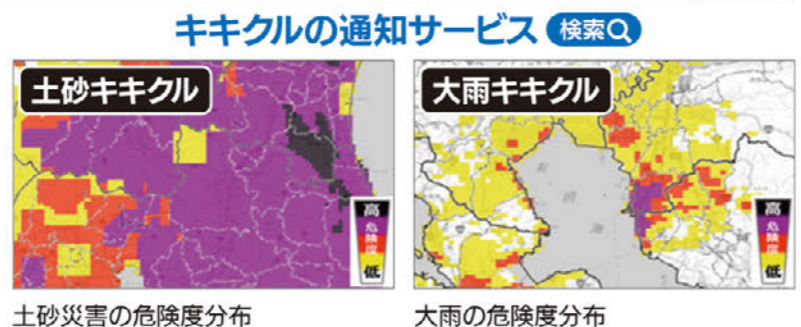
## 河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。



気象庁は「キキクル」で **土砂災害** **洪水** **浸水** の危険をリアルタイムで提供しています

「キキクル」は、土砂による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。また、民間事業者と連携し、自分が登録した地域の災害危険度が高まった場合などに、自動で通知するサービスを提供しています。



## 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。下に示すような前兆現象を確認したら、速やかに避難するとともに、みなべ町役場へご連絡ください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのかわかりませんか？

がけ崩れ	土石流	地すべり
<p>地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p>	<p>大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止める場合があります。</p>	<p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。ゆっくり動き出すため避難が遅れる場合があります。</p>

! こんなときは要注意		土砂災害の前ぶれ(前兆現象)		
五感	移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視	山・斜面・がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>がけに割れ目がみえる。</li> <li>がけから小石がパラパラと落ちる。</li> <li>斜面がはらみだす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>渓流付近の斜面が崩れだす。</li> <li>落石が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地面にひび割れができる。</li> <li>地面の一部が落ち込んだり盛り上がったたりする。</li> </ul>
	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>表面流が生じる。</li> <li>がけから水が噴き出す。</li> <li>湧水が濁りだす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の水が異常に濁る。</li> <li>雨が降り続けているのに川の水位が下がる。</li> <li>土砂の流出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沢や井戸の水が濁る。</li> <li>斜面から水が噴き出す。</li> <li>池や沼の水かさか急減する。</li> </ul>
音	樹木	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木が傾く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁りに流木が混じりだす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木が傾く。</li> </ul>
におい		<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の根が切れる音がある。</li> <li>樹木の揺れる音がある。</li> <li>地鳴りがする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地鳴りがする。</li> <li>山鳴りがする。</li> <li>転石のぶつかり合う音。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐った土のにおいがする。</li> </ul>

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるといものではありません。

## 土砂災害危険情報とは

土砂災害危険情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、和歌山県と和歌山地方気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害危険情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒してください。また、土砂災害危険情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めに避難行動をとってください。

土砂災害危険情報は、和歌山県がインターネットで公開している「和歌山県河川／雨量防災情報」で確認することができます。以下のURLからご確認ください。

<https://kasensabo01.pref.wakayama.lg.jp/> | 和歌山県 土砂災害メッシュ 検索Q



# 指定緊急避難場所・指定避難所(風水害避難所・避難場所)

番号	名称	所在地	電話番号	避難所	屋内避難場所	安全レベル	備考
1	堺児童会館	堺523-1		○	○	★★★	
2	ゆうゆう館	埴田1444-1	72-5900	○	○	★★★	
3	特別養護老人ホームバタフライヒルみなべ虹	埴田1450-1	84-2551	○	○	★★★	福祉避難所
4	なかよし作業所	埴田1444-1	72-5130	○	○	★★★	福祉避難所
5	埴田集落センター	埴田276-1	72-4049	○	○	★★	
6	国民宿舎紀州路みなべ	埴田1540	72-3939	○	○	★★★	
7	薬師寺	埴田89	72-2813		○	★★★	
8	埴田グラウンド	埴田929-2				★	
9	JR南部駅前	芝371-2				★★★	
10	みなべ町社会福祉センター	芝447-2	72-5611	○	○	★★★	
11	南部高等学校 校舎	芝407	72-2056		○	★★★	
12	南部高等学校 体育館	芝407	72-2056	○	○	★★★	
13	南部高等学校 農場前	芝528	72-3929			★★★	
14	南部高等学校 寄宿舎	芝452-1	72-2475		○	★★★	
15	南部小学校 校舎	北道289	72-2139	○	○	★★★	
16	南部小学校 体育館	北道289	72-2139	○	○	★★★	
17	南部中学校 校舎	芝510	72-2144	○	○	★★★	
18	南部中学校 体育館	芝510	72-2144	○	○	★★★	
19	南部公民館	芝503	72-1400	○	○	★★★	
20	北海道会館	北道59-1	72-5209	○	○	★★★	
21	みなべ一刻館前	北道198				★★★	
22	南道会館	南道95-6	72-5129	○	○	★★★	
23	みなべ町防災広場	南道141-2				★★★	
24	みなべ愛之園こども園	南道141-1	72-2371	○		★★★	福祉避難所
25	芝会館	芝721-10		○	○	★★★	
26	金毘羅	芝729-1				★★★	
27	駅前集会所	芝355-9		○	○	★★★	
28	芝崎会館	芝262-3	72-5755	○	○	★★★	
29	猪之山集会所	芝10-6		○	○	★★★	
30	さくら会館	芝7-2		○	○	★(注)	
31	東吉田会館	東吉田213		○	○	★★★	
33	気佐藤会館	気佐藤42	72-5666	○	○	★★★	
34	みなべ町津波避難センター	気佐藤72-1		○	○	★★★	
35	千鹿浦広場	山内1466-1				★(注)	
36	新庄会館	気佐藤473		○	○	★★	
37	新福寺	山内848	72-2146	○	○	★(注)	
38	GRAND MERCURE WAKAYAMA MINABE RESORT & SPA	山内348			○	★★★	
39	東岩代集落センター	東岩代903-3		○	○	★(注)	
40	浜会場	東岩代241-3			○	★	
41	東中村会場	東岩代785-1		○	○	★★★	
42	久木会場	東岩代1625-2	72-3578	○	○	★(注)	
43	岩代小学校 校舎	西岩代2162	72-2242	○	○	★	
44	岩代小学校 体育館	西岩代2162	72-2242	○	○	★★★	
45	伏山向山会場	西岩代364-3		○	○	★★★	
46	西中村会場	西岩代1257-2		○	○	★(注)	
47	戸仲会場	西岩代801-1		○	○	★(注)	
48	光照寺	西岩代495	72-2415	○	○	★★★	
49	上南部小学校 校舎	谷口549	74-2004	○	○	★★★	
50	上南部小学校 体育館	谷口549	74-2004	○	○	★★	
51	みなべうめ振興館	谷口538-1	74-3444	○	○	★(注)	
52	みなべ町生涯学習センター	谷口301-4	74-3334	○	○	★★★	

番号	名称	所在地	電話番号	避難所	屋内避難場所	安全レベル	備考
53	筋児童会館	筋313-1		○	○	★(注)	
54	上南部中学校 校舎	東本庄91	74-2044	○	○	★★★	
55	上南部中学校 体育館	東本庄91	74-2044	○	○	★★	
56	筋区民会館	筋262-3	74-3533	○	○	★(注)	
57	超世寺	筋242	74-2445	○	○	★(注)	
58	徳蔵区民会館	徳蔵275-3		○	○	★★	
59	谷口区民会館	谷口357-1	74-3568	○	○	★★	
60	みなべ町保健福祉センター	東本庄100	74-3337	○	○	★★★	
61	東本庄区民会館	東本庄571-1	74-3138	○	○	★★★	
62	来迎寺	東本庄897	74-2635	○	○	★(注)	
63	辺川会場	東本庄1260-1	74-3082	○	○	★(注)	
64	受領会場	東本庄1708	74-2950	○	○	★(注)	
65	六十川会場	東本庄1340		○	○	★(注)	
66	道林寺	熊岡83	74-2099	○	○	★(注)	
67	熊岡区民会館	熊岡815		○	○	★★★	
68	光明寺	晩稲1007	74-3110	○	○	★★★	
69	晩稲区民会館	晩稲1231	74-3290	○	○	★★★	
70	みなべ町介護予防センター	晩稲148-1	74-3409	○	○	★	
71	極楽寺	西本庄830	74-2448	○	○	★	
72	西本庄区民会館	西本庄829-5	74-3120	○	○	★(注)	
73	西本庄多目的集会場	西本庄773		○	○	★	
74	高城小学校 校舎	土井431	75-2214	○	○	★	
75	高城小学校 体育館	土井431	75-2214	○	○	★★★	
76	旧高城中学校 校舎	滝81	75-2224	○	○	★★	
77	旧高城中学校 体育館	滝81	75-2224	○	○	★(注)	
78	高城公民館	広野9	75-2455	○	○	★	
79	高城こども園	広野9	75-2044	○	○	★(注)	
80	広野区民会館	広野182-1		○	○	★(注)	
81	高野区民会館	高野526-1	75-2350	○	○	★(注)	
82	熊瀬川旧集荷場	熊瀬川336-1		○	○	★★★	
83	鶴の湯温泉	熊瀬川47	75-2616	○	○	★★★	
84	高城高齢者センター	高野1404	75-2755	○	○	★(注)	
85	市井川区民会館	市井川485-1	75-2613	○	○	★(注)	
86	滝区民会館	滝645-1		○	○	★(注)	
87	十輪寺	滝1214	75-2009	○	○	★	
88	特別養護老人ホームときわ寮梅の里	滝437	75-2618	○	○	★★	福祉避難所
89	島之瀬区民会館	島之瀬685		○	○	★(注)	
90	萬年寺	島之瀬252	75-2318	○	○	★(注)	
91	東神野川区民会館	東神野川490-1	75-2137	○	○	★(注)	
92	木の川区民会館	清川1068-5	76-2445	○	○	★	
93	紀州備長炭振興館	清川1254	76-2258	○	○	★(注)	
94	清川公民館	清川2223-3	76-2250	○	○	★★	
95	清川小学校 体育館	清川2333-1	76-2002	○	○	★★★	
96	大川区民会館	清川2538-1	76-2212	○	○	★(注)	
97	名之内区民会館	清川3807-1	76-2053	○	○	★(注)	

## ●安全レベルについて …土砂災害と浸水による★の数が異なる場合には、少ない方の★を当該避難場所の区分とします。

- ★★★ → 土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難場所
- ★★ → 土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難場所
- ★ → 大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難場所
- ★(注) → 大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするか、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がより高い避難場所

## 非常持ち出し品と備蓄品

下のリストを参考に、個人や家庭に必要なものを準備しておきましょう。

### ■ 食料

- 飲料水(1人1日2~3リットルを目安)
- 非常食(アルファ化米、保存パン、レトルト食品など)
- 携帯食(チョコレートなど)

### ■ 衛生用品

- 携帯トイレ
- 歯ブラシ
- 歯磨き粉、液体歯磨き、ペーパー歯磨き
- 洗面用具

### ■ 貴重品

- 現金(小銭)
- 預金通帳、印鑑
- クレジットカード類
- マイナンバーカード
- 免許証
- 健康保険証
- 病院の診察券



### ■ 救急・安全対策

- 常用薬
- 常備薬(かぜ薬、胃腸薬など)
- ばんそうこう
- 包帯
- ガーゼ
- 消毒液
- 手指消毒用アルコール
- 石けん、ハンドソープ
- ティッシュペーパー
- ウエットティッシュ
- 体温計
- マスク



### ■ 日用品

- ヘルメット、防災ずきん
- ホイッスル
- メガネ
- モバイルバッテリー
- 懐中電灯(手動充電式など)
- 携帯ラジオ(手動充電式など)
- 乾電池
- ポリ袋(ビニール袋)
- ナイフ、缶切り
- ライター、マッチ
- ろうそく
- 筆記用具(油性マジック)
- ロープ
- 使い捨てカイロ
- ハザードマップ



### ■ 衣類など

- 衣類
- 下着類
- タオル
- 毛布
- 手袋、軍手
- 寝袋
- 寝具
- レインウェア
- 靴



### ■ こどもへの備え

- ミルク(キューブタイプ)
- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- こども用紙おむつ
- おしりふき
- 携帯用おしり洗浄機
- ネックライト
- 抱っこひも
- こどもの靴



### ■ 女性への備え

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー、ホイッスル

### ■ 高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 老眼鏡
- 補聴器
- 介護食
- 入れ歯、洗浄剤
- 吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬
- お薬手帳

## マイ・タイムラインを作ろう

水害や土砂災害の危険があるときには、町から警戒レベル3「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」などの避難情報を発令します。避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。また、事前にとるべき行動を書き出して、マイタイムラインを作成してみましょう。

**自宅の危険度** ハザードマップで調べた自宅の危険度などを記入しておきましょう。

洪水浸水予想	土砂災害警戒区域	地震の揺れやすさ	津波浸水予想	わが家の避難場所
m	内 外	危険度	m	
警戒レベル				
1	2	3	4	5
避難情報		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
気象情報		早期注意情報	氾濫注意報 土砂災害注意報 大雨注意報 高潮注意報	氾濫警報 土砂災害警報 大雨警報 高潮警報
		氾濫危険警報 土砂災害危険警報 大雨危険警報 高潮危険警報	氾濫特別警報 土砂災害特別警報 大雨特別警報 高潮特別警報	
すべし 警戒レベルごとにその時自分が何をすべきか考えて記入しましょう		例えば 災害情報を収集		

## ❗ 「ローリングストック」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

